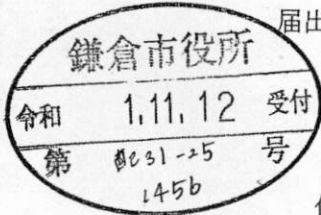


景観配慮協議申出書

令和元年11月12日

(宛先) 鎌倉市長



住所 神奈川県藤沢市片瀬海岸 1-13-18

届出者 氏名 湘南レーベル株式会社 代表取締役 島田雅之

電話 0466 ( 50 ) 8040

住所 神奈川県鎌倉市稲村ガ崎 1-9-2-1

代理人 氏名 板垣貴之建築設計事務所 板垣貴之

電話 0467 ( 55 ) 5513

〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

次のとおり申し出ます。

土地利用類型 の 名 称	鎌倉地域 まちなみ商業地		
景 観 地 区	■内 ( ) □外		
設計者	住 所	神奈川県鎌倉市稲村ガ崎1-9-2-1	
	氏 名	板垣貴之建築設計事務所 板垣貴之	電話 0467 (55) 5513
行為の場所	地名地番	鎌倉市御成町812番6	
	用途地域	商業	防火地域 ■ 防火 □ 準防火 □ 指定なし
	そ の 他	□ 風致地区 □ 歴史的風土保存区域 □ その他( )	
行為の種類	建 築 物	■ 新築 □ 増築 □ 改築 □ 移転	
	開 発	□ 土地の区画の変更 □ 土地の形質の変更	
特 定 地 区	□ 内 ( □ 由比ガ浜 □ 由比ガ浜中央 □ 鎌倉芸術館周辺地区 ) □ 外		
行為の期間	着手予定 令和元年12月10日	完了予定	令和元年1月31日

(裏)

建築物の概要	用途	ホテル				
	最高の高さ	14.90 m	階数	地上 5 階 地下 階		
	構造	鉄筋コンクリート造				
	敷地面積	252.51 m <sup>2</sup>				
	建築面積	162.25 m <sup>2</sup>	届出以外の部分	0 m <sup>2</sup>	合計 162.25m <sup>2</sup>	
	延べ面積	650.52 m <sup>2</sup>	届出以外の部分	0 m <sup>2</sup>	合計 650.52m <sup>2</sup>	
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ	□ 高架水槽 m ■ その他 1.50m (給湯器)				
	色彩の変更部分とその面積	面積 m <sup>2</sup>				
	仕上材	屋根	陸屋根, コンクリート	色彩	屋根	グレー. N6
		外壁	RC吹付塗装		外壁	2F~4F : ブラック : N3 1F, 5F : 7.5YR7/4 (ブラウン色)
開発行為の概要	開発区域の面積	m <sup>2</sup>				
	行為の目的	分割 ( 区画 ) (最小区画面積 m <sup>2</sup> )	その他 ( )			
	行為の内容	切土 ( m <sup>3</sup> )	盛土 ( m <sup>3</sup> )	その他 ( )		

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例: 日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴（景観的特性、景観資源等）をつかみ、記入する。

着 眼 点	計 画 地 周 辺 の 現 況 等 記 入 欄
地 域 的 特 徴	商業地域であるが、裏路地的な落ち着いた雰囲気のある街並みの中に、ホテルニューカマクラさんのレトロモダンな建物が鎌倉らしさをひきたてている地域である。
まち並みの連続性	通りとしては、水道局の重厚感のある建物から、古い木造の住宅、動物病院、ホテルなど、様々な用途があるが、いずれも樹木や生け垣などで景観を考慮した街並みとなっている。
周辺建物のデザイン	木造の古い建物が多い為、全体的にはアースカラーが多い
眺 望 景 観	建物高さは、2階建てが多く、メイン通りの入り口は4F建ての水道局が建つ。
景 観 資 源	線路側に大きなイチョウの木、ホテルニューカマクラさんの敷地内に桜の木があり、景観に彩りを与えている。

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
配 置	○	建ぺい率いっぱいではなく、まちづくり空地としてもセットバックを行い、道路からの圧迫感をなくした。
形 態 意 匠	○	5Fを、道路からセットバックし、道路から見上げる際に、極力見えないように配慮した。
色 彩	○	墨色の黒と茶色を組み合わせ、古都鎌倉らしい色彩に配慮した。
建 築 設 備	○	道路面から、室外機や、給湯器などが見えないように配慮した
外 構 緑 化	○	和風のホテルにする為に、樹木本数にカウントされない竹も植え街並みの景観を乱さず、鎌倉らしい雰囲気の建物になるように緑化計画を行った。

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
造 成		
擁 壁		
敷き際・緑化		